



平成 21 年 10 月 20 日

各 位

会社名 株式会社 フジトミ
代表者名 代表取締役社長 細 金 英 光
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
問合せ先 取締役管理本部長 新 堀 博
電話 03-3209-5500

平成 22 年 3 月期通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想について、平成21年5月14日付当社「平成21年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期（連結・個別）業績予想の修正

(1) 連結業績予想（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	2,450	△180	△100	△100	△14円58銭
今回発表予想(B)	1,840	△689	△629	△638	△93円00銭
増減額(B-A)	△610	△509	△529	△538	
増減率	△24.9%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	2,018	△467	△392	△477	△69円57銭

(2) 個別業績予想（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	1,160	△240	140	140	20円41銭
今回発表予想(B)	737	△498	△137	△140	△20円41銭
増減額(B-A)	△423	△258	△277	△280	
増減率	△36.5%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	1,217	△351	△271	△296	△43円28銭

2. 修正理由

(連結)

当社グループは、平成 22 年 3 月期の業績予想にあたり、商品先物取引市場の規模縮小を考慮し、投資関連サービス事業の営業収益を前期比 5 % 程度の減収と想定しておりましたが、本日、別途発表いたしました「平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（連結・個別）業績見直しに関するお知らせ」に記載の通り、当社グループの予想を上回る商品先物取引市場の急速な規模縮小により、当第 2 四半期連結累計期間の投資関連サービス事業の営業収益は、商品先物取引受託業務の受取手数料が 424 百万円（前年同期比 31.6%減）、自己売買業務の売買益が 35 百万円（前年同期比 90.4%減）と大幅な減収となり、生損保の募集手数料 18 百万円（前年同期比 117.6%増）等と合わせた営業収益合計は 480 百万円（前年同期比 52.0%減）と低水準にとどまりました。

当社グループは、上半期の実績及び現在の市場環境等から、下半期業績の大幅な改善は見込めないものと判断し、下半期の投資関連サービス事業に係る営業収益を概ね前年同期比 30%減と想定し、通期業績予想を修正することといたしました。

これに伴い、商品先物取引業務については、一層の効率化、スリム化を進める予定であり、今期の投資関連サービス事業の営業費用は、通期 1,800 百万円以内（前期比 21.4%減、期初計画 2,000 百万円以内から 200 百万円減額）とする方針であります。

なお、下半期においては、当社従業員（商品先物取引部門）の子会社(株)エコ&エコ（太陽光発電機・オール電化機器等の販売事業）への出向、当社本社ビル 1 階での(株)エコ&エコ新宿店（京セラソーラー F C 新宿店）の開設（10 月 23 日オープン予定）など、グループ内での人材、不動産などの有効活用を進めると共に、投資関連サービス事業においても、商品先物取引、保険募集業務に加え、新たに金融商品仲介業を 10 月 5 日から開始しており、お客様のニーズに合った、顧客満足度の高い営業を進めてまいります。

(個別)

当社個別業績につきましても、連結業績と同様、当社グループの予想を上回る商品先物取引市場の急速な規模縮小により、商品先物取引業務の当第 2 四半期累計期間の営業収益が大幅な減収となったことに伴い、現状を勘案して通期業績予想を修正いたしました。

(注) 上記予想は、発表日現在における入手可能な情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであります。当社グループの業績は、商品先物取引市場の相場動向や経済情勢等により変動するため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上